

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市小鶴老人福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人 杜の村	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 9,976人(前年度比 120.0%) 令和4年度 8,314人 令和3年度 3,491人	
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 24,310千円 (24,260千円) ・ その他市が負担した費用 5,115千円 (1,045千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和6年2月～3月に利用者アンケートを実施した。また、講師懇談会、サークル、愛好会の代表者会議、意見交換会を実施した。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、意見箱の設置等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 杜の村）による自己評価》
<p>5年度の活動は行事、イベント等の企画。実施に関しては、だいぶコロナ前に戻って来た内容になっております。但し利用者数は中々回復せず、コロナから受けた5年間は高齢者にとって、大きな影響を残しました。今後はコロナに正しく対応し、以前から利用者の皆さんに、人気や要望の高かったイベント行事の復活や新規のニーズに沿った企画で利用率、集客率の増加に繋げてまいります。町内会や子供会が機能不全に陥る中、老福センターも集客数にだけ、こだわらず地域の世代間交流を目的とした内容に特化したり、健康寿命を維持しながら、高齢者が色々な意味で地域貢献ができる仕組みを持ったセンターの新たな役割を果たして参ります。</p> <p>建物が築45年以上経過しており、数回に上る、強烈な地震を乗り越えてきておりますが給水管、下水管、ボイラー温水管等の水回りは特に、地震によるダメージが大きく、運営に支障が出る前に、修繕が必要な状況です。</p> <p>5年度、初めての試みとしてセンター付近の住民も対象に、世代間の交流を目的に小鶴マルシェを開催しました。キッチンカーや障害者支援施設の物販等と小鶴センターの講座や教室の作品展示や発表等を行い、大盛況を得ました。今後も継続する事により、地域に、無くてはならない施設として認識していただくように努力いたします。</p> <p>広報は月毎お便り800部、市政だより掲載、管内外ポスター等を実施しています。</p> <p>6年度はシニアビューター講座(仮称)を計画実施し、他のイベントや講座のニーズを鑑みながら集客と講座の充実を図ります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、利用者が低調であったが、初めての試みとしてセンター付近の住民も対象に、世代間の交流を目的に小鶴マルシェを開催するなど、利用者数は増加につながる取り組みがみられる。</p> <p>また、人気や要望の高かったイベント行事の復活や新規の企画を検討しており、利用者の意見やニーズを取り入れた企画・立案が行われている。</p> <p>地域の世代間交流を目的とした内容に特化したり、健康寿命を維持しながら、高齢者が地域貢献ができる仕組みを持ったセンターの役割を目指し、施設運営に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>毎月のセンターだよりの発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。</p> <p>以上のことから、総合的に高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

© 評価担当課(施設所管課):健康福祉局保険高齢部高齢企画課